

令和3年度施行主要事業実績及び事業評価一覧

(単位:千円)

NO	款	項	目	事業	新規事業	事業名	事業内容	(事業主体) 施行業者名	事業評価			事業費	財源内訳					
									成果・達成度	課題及びその解決方針	今後の方向性		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
<b>【一般会計】 教育委員会</b>																		
1	9. 教育費	1. 教育総務費	2. 事務局費			事務局費	・教育委員会事務局の運営 ・奨学資金貸付金の運用 ・小中高一貫教育の更なる推進 ・教育支援委員会の運営(就学相談) ・通学路安全推進会議委員会の運営 ・夏休みのプール利用に係る管理 ・就学時健診の実施 ・教科書採択協議会 ・学校相談員の設置	町	奨学資金 新規申請3件 全件承認 滞納額については、令和2年度末の216万円から55万円減少し、161万円 小中高一貫教育は14年目を迎え、検証アンケートにおいて、行事評価は91.6%、一貫教育評価は86.0%となっており理解が広がっている。	課題:小中高一貫教育について、教員は3年周期での異動が基本となっており、内容を理解した頃の転勤が繰り返されるため、事業の円滑な推進のためには、熟知した人材を確保することが課題である。 解決方針:合同会議を年3回から4回にし、各機関同士の情報共有の場を増やし理解を深めていく。	維持	各取組について、情報発信が弱いと、おぢかスタチオや長崎新聞などに協力してもらい、県内外へ情報を発信していく。	38,470	0	0	0	3	38,467
2						施設維持・管理事業 (教職員住宅)	・屋外樹木の伐採、施設の修繕・光熱水費・火災保険、消防法点検管理等 ・住宅修繕 ・住宅使用料の徴収 ・松香丘2戸、中村12戸、西町8戸、丘町4戸、大島4戸 計30戸(大島1棟2戸は入居不可状態)	町	入居可能住宅 28戸 入居数27戸 入居率96.4%	課題:大島教員住宅については、老朽化が進み、教員が入居できない状態 解決方法:令和4年度中に2戸を改修し、小値賀島からの通勤をしなくても良い状態に戻す。	維持	当面は修繕経費が高む見込み。	3,680	0	0	0	5,930	-2,250
3	9. 教育費	1. 教育総務費	2. 事務局費			小値賀小学校費	学校運営に関する経費 ・学校医、学校薬剤師の委嘱 ・用務員、学校支援員の配置 ・各種検診の実施 ・教育相談員の配置 ・物品の購入 ・日本スポーツセンター災害共済加入 ・電話の設置 ・ピアノ等物品のメンテ ・PCセキュリティ対策 ・農業体験の委託 ・図書システムの運用 ・学校HPの運用 ・AEDの設置 ・必要備品の購入 ・各種団体への加入負担金等の必要経費を計上。	町	コロナ禍ではあったが、年度当初に予定されていた取組みについては、順調に遂行できた。	義務教育なので事業継続は必須であるが、ICT教育をはじめ特別学級支援員など予算が高んでおり、経費削減に努めていく。	維持	目的達成のために、事業を継続する。	11,093	0	0	0	32	11,061
4						ふるさと留学受入事業	留学期間は1年間(継続可)とし、対象学年は小学5年生～高校1年生。 ふるさと留学協議会を行い、留学生の審査や事業の方針を協議する。 施設使用料(保護者負担):5万円/月 しま親委託料:12万円/月(実親4万円、町8万円※うち1/2は離島活性化交付金)	町	・受入留学生 3名 (中学2年生1名、中学1年生2名)	・事務局、アドバイザー、コーディネーター、スタッフ間の情報共有 ・留学生募集にかかる説明会及び先進地視察の実施 ・関係スタッフのスキルアップ	維持	令和4年度 留学生数:4名 (入寮型3名、しま親型1名) 令和5年度 留学生受入目標人数:9名 (入寮型8名、しま親型1名)	6,692	2,900	0	0	1,498	2,294
5						若者向け短期滞在施設整備事業	町所有の家屋(笛吹郷1460番地2)を取り壊し、12名の受入れが可能な新築の若者向け短期滞在施設を建設する。また、留学生が生活を行う上で必要な消耗品や備品の選定を行い、随時購入する。	町	12月3日:寮建特工事完了 1月7日:外構工事完了 ※12月12日から入寮	施設の維持・管理 留学生の生活や勉強に適した環境の整備	維持	令和4年度 入寮型留学生受入れ:3名 令和5年度 入寮型留学生受入れ数:8名 (予定)	1,820	0	0	0	0	1,820
6						【繰越事業 R2→R3】 若者向け短期滞在施設整備事業	町所有の家屋(笛吹郷1460番地2)を取り壊し、12名の受入れが可能な新築の若者向け短期滞在施設を建設する。また、留学生が生活を行う上で必要な消耗品や備品の選定を行い、随時購入する。	町	12月3日:寮建特工事完了 1月7日:外構工事完了 ※12月12日から入寮	施設の維持・管理 留学生の生活や勉強に適した環境の整備	維持	令和4年度入寮型留学生受入れ:3名 令和5年度入寮型留学生受入れ予定数:8名	84,280	32,318	0	0	0	51,962

## 令和3年度施行主要事業実績及び事業評価一覧

(単位:千円)

NO	款	項	目	事業	新規事業	事業名	事業内容	(事業主体) 施行業者名	事業評価			事業費	財源					
									成果・達成度	課題及びその解決方針	今後の方向性		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
7	9. 教育費 2. 小値賀小学校費 1. 学校管理費			179		大島分校費	学校運営に関する経費 ・学校医、学校薬剤師の委嘱 ・用務員、学校支援員の配置 ・各種検診の実施 ・教育相談員の配置 ・物品の購入 ・日本スポーツセンター災害共済加入 ・電話の設置 ・ピアノ等物品のメンテ ・PCセキュリティ対策 ・農業体験の委託 ・図書システムの運用 ・学校HPの運用 ・AEDの設置 ・必要備品の購入 ・各種団体への加入負担金等の必要経費を計上。	町	コロナ禍ではあったが、年度当初に予定されていた取組みについては、順調に遂行できた。	令和3年度で児童数がピークを迎え、これから年々児童数が減少し、令和9年度には1名、令和13年度には、0名とになってしまう見込み。分校存続について地元や学校を交えて協議し、ふるさと留学などの制度活用も視野に話を進めていく必要がある。	維持	目的達成のために、事業を継続する。	1,311	0	0	0	0	1,311
8				572		施設維持・管理事業(小値賀小学校)	施設維持管理消耗品、光熱水費、修繕料、各種設備の点検、使用料に係る必要経費を計上。	町	予算の範囲内で、必要な消耗品等の準備に努めることができた。	小中学校校舎が建築が10年を経過し、各所で爆裂やクラック、雨漏りなどが顕著に現れるようになった。学校運営に支障をきたさないよう、老朽化調査の結果などをもとに、早めに対応できるものについては、適切に対応していく。	維持	継続して学校の適正な管理運営に努める。	20,866	0	0	14,500	37	6,329
9				573		施設維持・管理事業(大島分校)	施設維持管理消耗品、光熱水費、修繕料、各種設備の点検、使用料に係る必要経費を計上。 (大島分校補修工事…爆裂箇所補修2箇所、体育館爆裂箇所さび止め舗装2箇所、校舎笠木設置2箇所、グラウンド内フェンスの取替2箇所)	町	予算の範囲内で、必要な消耗品等の準備に努めることができた。	分校校舎を令和5年度に大規模改修するか、児童数を考慮して最低限の修復でしていくのか、地元や学校とも今後の方向性について調整していく。	拡大	令和4年度に体育館改修、令和5年度に校舎改修が予定されている。	8,135	0	0	6,100	0	2,035
10	9. 教育費 2. 小値賀小学校費 2. 教育振興費			181		小値賀小学校教育振興費	・卒業記念品・授業に対する消耗品・教材及び学習に使用する備品の購入 ・野外宿泊体験学習・修学旅行への補助金	町	指導者用PC…9台 学習用タブレット…92台 整備	生徒用タブレットについては、セキュリティ面の問題や保険の問題があり、持ち帰りが進まない状況であったが、今回のリプレースに合わせて、持ち帰りに支障がない体制を整えることができる。	維持	ICT支援員が令和4年7月末で退職予定であるが、後任が不在のため、学校運営に支障が出ないようにサポート会社の学英システムと調整して、対応していく必要がある。	9,443	53	0	6,335	18	3,037
11	9. 教育費 4. 小値賀中学校費 1. 学校管理費			189		小値賀中学校費	学校運営に関する経費 ・学校医・学校薬剤師等の委嘱 ・各種検診の実施 ・教育相談員の配置 ・必要経費・備品の購入 ・各関係協議会の負担金 ・体育館の整備 等の必要経費を計上	町	予算の範囲内で、必要経費、備品等を購入し、教育の振興を図ることができた。	ふるさと留学生在が主に中学校をメインとして集まるようになってきた。今後も留学生を増やしていく中で、学校の受け入れ体制を確立していかなければいけないため、ふるさと留学協議会を中心に、協議を重ねていく必要がある。	維持	目的達成のために、事業を継続する。	4,565	0	0	0	0	4,565
12				574		施設維持・管理事業(小値賀中学校)	施設維持管理消耗品、光熱水費、修繕料、各種設備の点検、使用料に係る必要経費を計上。	町	予算の範囲内で、必要な消耗品等の準備に努めることができた。	小中学校校舎が建築が10年を経過し、各所で爆裂やクラック、雨漏りなどが顕著に現れるようになった。学校運営に支障をきたさないよう、老朽化調査の結果などをもとに、早めに対応できるものについては、都度対応していく必要がある。	維持	継続して学校の適正な管理運営に努める。	4,403	0	0	0	0	4,403
13	9. 教育費 4. 小値賀中学校費 2. 教育振興費			191		小値賀中学校教育振興費	・特別支援教育支援員 1名の配置 ・卒業記念品、授業に要する消耗品・教材、学力検定料及び学習に使用する備品の購入 ・職場体験学習の際の保険 ・情緒学級新設のための備品購入 ・中学校教科書改訂による新たな指導書・デジタル教科書等の購入	町	指導者用PC…15台 学習用タブレット…68台 整備	生徒用タブレットについては、セキュリティ面の問題や保険の問題があり、持ち帰りが進まない状況であったが、今回のリプレースに合わせて、持ち帰りに支障がない体制を整えることができる。	維持	ICT支援員が令和4年7月末で退職予定であるが、後任が不在のため、学校運営に支障が出ないようにサポート会社の学英システムと調整して、対応していく必要がある。	20,958	0	0	9,665	0	11,293

令和3年度施行主要事業実績及び事業評価一覧

(単位:千円)

NO	款	項	目	事業	新規事業	事業名	事業内容	(事業主体) 施行業者名	事業評価			事業費	財源内訳					
									成果・達成度	課題及びその解決方針	今後の方向性		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
14	9. 教育費 7. 社会教育費 1. 社会教育総務費			147		社会教育全般	社会教育に関する一般事務事業 社会教育委員会の開催(R3年度は10月に1回開催) 社会教育関係団体へ活動費補助金交付	町	令和3年度の研修会や研究大会はコロナ禍によるオンライン移行が進み参加しやすくなった半面、対面形式に比べてやはりごこちない部分がある。社会教育関係団体へ活動費補助金を交付するべく4団体分を計上していたが、コロナ禍で活動していない団体もあり、最終的には2団体への交付となった。	社会教育は幅が広いので、引き続き各種研修等に参加し、必要な知識を身につける。また、町内の社会教育関係団体については会員の高齢化や会員数の減少が進んでいるためサポートしていく必要がある。	維持	今後は、新たな生活様式を見据えた事業の在り方を見直ししていく必要がある。	31,055	0	0	0	0	31,055
15	9. 教育費 7. 社会教育費 2. 公民館費			196		公民館一般管理事務	公民館に関する一般事務事業。	町	公民館事業の周知のためのチラシの作成、配布を行う。また、町外の公民館関係の研修に関してはコロナの影響でオンライン受講がメインとなった。生涯学習活動として計画していた「熟年大学」「婦人学級」については、コロナの影響もあり、今年度実施を見送った。	公民館事業に興味を持ってもらえるように周知活動を工夫していく必要がある。「Withコロナ」の時代にあつて、公民館活動はどうあるべきか他自治体の事例等を探りながら模索していく必要がある。	維持	今後も継続する。	3,477	0	0	0	0	3,477
16	9. 教育費 7. 社会教育費 3. 総合センター費			758		青少年教育活動④(放課後子ども教室推進事業)	令和3年度より「よりみち塾」が福祉事務所から教育委員会へ移管された。 ・よりみち塾 実施日時:毎週月曜日～金曜日 授業終了～16:30まで 場所:小学校体育館、小学校多目的室、図書室など	町	登録者数67名(81名中)。令和3年度からの移管事業ではあるが、スタッフは前年度からほぼそのまま移行しており、4月からスムーズに実施できた。また事業内容の充実を図るため「放課後子ども教室運営委員会」を立ち上げた。	子ども達に充実した事業環境を提供するため、アドバイザー及びサポーターの一層の充実が必要。	維持	1月末から主担当の会計年度任用職員が産休に入っており、教育委員会職員がその代理として奮闘している。令和4年3月の復帰まで他職員も含め事業を継続できるようサポートしていく必要がある。	3,085	0	592	0	0	2,493
17	9. 教育費 7. 社会教育費 3. 総合センター費			197		離島開発総合センター一般管理事務費	離島開発総合センターに関する一般管理事務事業。	町	令和3年度利用者数 8,114人(前年比+1,783人)昨年度より利用者数が増加しているもののコロナ前の水準にはまだ戻っていない。各会議室利用者数制限に加え、公民館事業等の未実施が主な原因である。	施設の老朽化が見られるため、個別施設計画等に基づいて計画的に対処する必要がある。また、センター使用料金や減免規定についても見直しが必要。	維持	センターの適切な維持・管理運営に努める。	8,635	0	0	0	130	8,505
18	9. 教育費 7. 社会教育費 4. 歴史民俗資料館費			198		歴史民俗資料館管理運営	収蔵資料の適切な保存、管理に努めるとともに、資料の活用事業の一環である、常設展のさらなる充実、季節ごとの企画展を計画的に実施する。また、小値賀小中学校や観光部局との連携強化に努め、町における生涯学習、観光振興への寄与を目指す。	小値賀町	令和2年度に引き続き、感染症の拡大状況に応じて臨時休館などを取り入れた運営に努めた。	職員ならびに利用者への感染拡大は防止できたが、その分、入館者数は大きく落ち込んだ。令和4年度はアフターコロナを見据え、入館者制限の見直しや展示解説の再開など、通常運営に近い形に戻していくために努力する。	維持	2年あまり内容を変えていない常設展の変更や企画展の実施などを検討していく。	1,488	0	0	0	52	1,436
19	9. 教育費 7. 社会教育費 4. 歴史民俗資料館費			625		施設維持・管理事業(歴史民俗資料館)	生涯学習施設として利用者の文化教養の向上に寄与できるよう、施設の適切な維持管理に努める。	小値賀町	新館は築後30年以上が経過したRC建造物であるため、職員による日常定期点検の強化に努めた結果、建物のおおきなき損や設備の故障などもなく、1年間運用することができた。	水道管やトイレ配管など見えない部分の老朽化が懸念される。定期的に水を流し、色や匂いに異常がないかなど、日常の点検に力を入れる。	維持	施設の延命化に努める。令和4年度にエアコン更新を行う。	1,426	0	0	0	0	1,426

## 令和3年度施行主要事業実績及び事業評価一覧

(単位:千円)

NO	事業				事業名	事業内容	(事業主体) 施行業者名	事業評価			事業費	財源内訳					
	款	項	目	事業				新規事業	成果・達成度	課題及びその解決方針		今後の方向性	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
20	9. 教育費 7. 社会教育費 5. 文化財保護調査費			632	文化的景観保護推進事業費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選定区域内の適切な維持・管理をおこなうため、町条例に定めた審議会を開催する</li> <li>・全国の文化的景観選定地区との連携を深めるため、継続して全国文化的景観地区連絡協議会に参加する</li> </ul>	小値賀町	平成22年度に選定されて以降、商家尼忠東店、野崎島神官屋敷等空き家の有効利用を行ってきているが、年々増加する空き家対策に苦勞しているが、R3年度は笛吹地区にある旧小西家住宅に関する有効利用の検討に着手している。	少子高齢化をはじめとする人口減少に伴い、空き家が増加。明治、大正、昭和前期に建設された木造家屋が織り成す集落景観の維持が困難な状況にある。空き家の活用事業など街並み保存に関する横断的な検討大切を設立する必要がある。	維持	文化的景観が持つ文化的価値を伝えるため、町民講座、町歩きイベント等を引き続き実施していく。	1,094	0	0	0	0	1,094
21				199	文化財保護調査費	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化財の艇的な点検と管理作業(草刈等)</li> <li>・条例に基づく委員会の開催</li> <li>・文化財関係会議や技術研修への参加</li> <li>・旧野首教会等文化財建造物の保存管理</li> <li>・クラック多く入り道路側への崩落の危険性が考えられる、旧小田家住宅土塀の修繕</li> </ul>	小値賀町	おおむね事業内容は遂行できたが、旧小田家や旧野首教会については経年による劣化が進んでいるため、教会はステンド天井の一部崩落やステンドグラスのき損、旧小田家については御成門のゆがみなど予期せぬ損壊が発生した。	台風や豪雨などの自然災害から御前に文化財の保護を図ることが課題である。(き損を未然に防ぐ養生作業や発生後の修繕予算の確保など。)	維持	文化財建造物については各部材の定期点検を実施するなどして、老朽化の早期把握に努める。	2,520	0	0	0	0	2,520
22				199	町内遺跡等調査事業	令和3年度 1. 発掘調査 ①沖ノ神嶋神社境内地発掘調査 ②神社周辺海域水中調査 2. 図面作成 ①沖ノ神嶋神社境内地石垣立面、オルソ画像作成	小値賀町	1. 発掘調査 ①沖ノ神嶋神社境内地発掘調査 →予定通り実施できたが、期待していた成果を上げることができなかった。文化庁担当調査官からも追加調査の助言があり、令和4年度は新たな箇所を発掘予定である。 ②神社周辺海域水中調査 →礎石などの遺物や祭祀跡などの遺構は確認できなかったが、18・19世紀代に肥前国で制作された磁器片10数点が採取された。キリタン入植時代の貴重な資料といえる。 2. 図面作成 ①沖ノ神嶋神社境内地石垣立面、オルソ画像作成 →天候に左右され、現地調査着手が遅れた。	野崎島に関する調査はいずれも天候に大きく左右されるため、実施の時期や体制の検討は慎重に行う必要がある。R4年度も海底調査、陸上域の発掘調査を計画していることから、安全第一をモットーに作業にあたりたい。	維持	怪我や事故の発生を未然に防止するため、調査計画を策定し、関係機関を情報共有を図りながら実施する。	3,894	913	365	0	0	2,616

令和3年度施行主要事業実績及び事業評価一覧

(単位:千円)

NO	款	項	目	事業	新規事業	事業名	事業内容	(事業主体) 施行業者名	事業評価			事業費	財源内訳					
									成果・達成度	課題及びその解決方針	今後の方向性		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
23	9. 教育費 7. 社会教育費 6. 図書館費			200		図書館管理運営費	図書館法に基づき、各種図書館サービスを提供する。 ①町民の学習・文化活動を支援するための資料を収集、整理、保存し、町民の利用に供する。 ②多様化する町民ニーズに応えるため、新鮮な幅広い資料の充実に努める。 ③各種催しを企画、実施することで、読書活動の普及・啓発を図る。 ④学校との連携を図ることで、学校教育への支援を行い、読書習慣の確立等に寄与する。	町	○貸出冊数(16,925冊) ○蔵書の整備(受入図書:1,717冊、AV資料:30点) ○催し【絵本の福袋、本まくら、新春最初の運試し(参加者188名)】【ba-baちゃんg あみぐるみ作品展、パール&オレンジリボン~女性に対する暴力をなくす運動~、中学生学習発表会作品展(中学校との連携): (開催時来館者数881名)】 【ブックスタート事業(健康管理センターとの連携事業)】 ○学校等への団体貸出(1,174冊<内、連携貸出278冊>:18団体) ○他市町との図書館間相互貸借(借受:973冊、貸出:53冊) ○小値賀小学校との連携事業(オリエンテーションの実施、おすすめ本の展示)など 入館者数は微増であるが、貸出冊数については、連携貸出や団体貸出など学校支援による貸出し等により、昨年度より大幅に増加している。コロナ感染症対策による利用制限のため、展示を中心に催しを行った。健康管理センターとの共催事業として今年度より開始した「ブックスタート」による子育て支援、高齢者向け「宅配サービス」の利用促進など、利用者サービスの充実を図ることができた。町民一人当たりの貸出冊数は、7.5冊<目標値(8.0冊)>、入館者数は、人口比率208%と目標値である(400%)を下回り目標値の達成ができなかった。	課題:コロナ感染症拡大の影響による、図書館来館者数の減少。 解決方針:コロナ禍での催し等の工夫を行うことで課題解決を図る。	維持	町民の生涯学習活動に寄与するため、多様化・高度化する町民のニーズに応えられるような資料や情報を提供し、町民の読書推進を図ると共に、小値賀町の生涯学習活動推進における中核施設として、資料の充実を図り、町民の文化教養の向上を図る。	9,002	0	0	0	6049	2,953
24				577		施設維持・管理事業(図書館費)	図書館の施設及び設備の効率的な維持管理を行う。	町	空調機、多目的トイレ、調理室換気扇の修繕。 令和3年度実績 ・入館者数 4,710人 ・開館日数 293日	施設の老朽化が進んでおり、対処が必要である。特に、館内の雨漏り、床の落ち込み等、今後の改修を計画化していく必要がある。	維持	適切な修繕及び定期的なメンテナンスにより施設の延命化を図る。	2,188	0	0	0	0	2,188
25	9. 教育費 8. 保健体育費 1. 保健体育総務費			201		社会体育全般	スポーツ推進委員関係事業の開催、社会体育関係団体に対する補助金の交付を行った。 町民体育レクリエーション大会は、コロナウイルスの影響で中止になった。	町	第54回町民体育レクリエーション大会(中止) 社会体育関係団体への補助金交付 2団体 スポーツ推進委員主催「運動能力テスト」「ウォーキング大会」共にコロナの影響で中止。	町レクについては、人口減少により出場者の確保等で各地区の負担が大きくなってきている。コロナの影響の中で、かつ参加者を確保しやすいプログラムとなるよう検討会で内容を検討していく。	維持	町レク大会は本町最大のイベントであるため今後も継続できるように開催間隔も含めて開催方法を検討していく。	1,887	0	0	0	0	1,887
26				578		施設維持管理(総合体育館)	総合体育館の維持管理	町	令和3年度施設利用実績 ・利用者数 6,879人(前年比+2,607人) ※ただしコロナワクチン接種での利用者数が多いため、準利用者で比較すると減少傾向である(ワクチン接種3,978人)。コロナ禍による利用制限及びスポーツ大会中止の影響が大きな要因と考えられる。	利用者数減少はコロナの影響が大きい。施設の老朽化により雨漏りや空調設備の不具合が発生している。令和3年度中に総務課及び建設課と協議を行い、令和4年度から改修事業を実施できるよう準備を進める。	拡大	適切な修繕及び定期的なメンテナンスにより施設の延命化を図る。 令和4年度に調査及び基本設計・実施設計、令和5年度に改修工事を実施する。	8,776	0	0	0	314	8,462

## 令和3年度施行主要事業実績及び事業評価一覧

(単位:千円)

NO	款	項	目	事業	新規事業	事業名	事業内容	(事業主体) 施行業者名	事業評価			事業費	財源内訳					
									成果・達成度	課題及びその解決方針	今後の方向性		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源	
27	9. 教育費 8. 保健体育費 1. 保健体育総務費			579		施設維持管理(グラウンド)	総合グラウンドの維持管理	町	令和3年度施設利用実績 ・利用者数 3,473人(前年比 △1,027人)	利用者数はここ数年1,000人規模で減少している。コロナ禍でスポーツ大会がのきなみ中止となっていることが主な要因である。平成28年度に大規模改修を行ったが、グラウンドの状態を保つためには継続した適切な管理が必要。	維持	適切な修繕及び定期的なメンテナンスにより施設の延命化を図る。利用者増に向けたスポーツ団体への働きかけを行う。	1,504	0	0	0	64	1,440
28				580		テニスコート照明設備取替工事	○テニスコート照明設備改修工事 ・LED照明器具 16台(テニスコート2面分) ・照明器具取付用アーム1式  ・設計・施工管理委託料1式	町	令和4年2月に工事完了。	助成金処理も滞りなく完了している。	終了	今後は、利用者増に向けたスポーツ団体への働きかけを行う。	13,933	0	0	0	7724	6,209
29				582		施設維持管理(若者交流センター)	若者交流センターの維持管理	町	令和3年度施設利用実績 ・利用者数 218人(前年比△287人)	現在のところ大きな修繕箇所は発生しておらず良好な状態である。令和3年度現在、コロナ感染者の隔離場所としてキープされており、一般的な利用はなされていない(R3利用は産業振興課関係事業者と自衛隊のみ)。	維持	適切な修繕及び定期的なメンテナンスにより施設の延命化を図る。今後の活用は、コロナの終息状況次第となる。	1,348	0	0	0	78	1,270
30	9. 教育費 8. 保健体育費 2. 学校給食費			203		学校給食費	小中学校(大島分校を含む)における完全給食に係る経費及び食料費補助	町	完全給食実施により、食育推進及び身体の健全育成が図られた。	食材購入費補填のための町補助が多額となっている。	維持	安全安心な学校給食の提供と、その中での地元商店、地元食材の活用を継続・維持していく。	15,519	0	0	0	0	15,519
31				575		施設維持・管理事業(共同調理場)	■学校給食を提供する共同調理場の適切な維持管理 ・電気、水道、ガス等の光熱水費 ・建物災害共済掛け金 ・消防用設備点検委託料及び空調機の保守点検委託料	町	共同調理場において重大な事故の報告はなく安心安全な学校給食の提供及び施設維持が継続出来ている。	厨房機器の経年劣化による多額の修理、入替等の協議が見込まれる。	維持	栄養教諭と情報共有を行い、厨房機器のメンテナンスを行う。	2,642	0	0	0	0	2,642